

第20回アジア競技大会 体操男子日本代表選考方法

[1] 代表選手の選出（5名）

1. 個人総合枠：3名

- ① NHK杯の個人総合上位2名を、個人総合枠の日本代表選手（世界選手権代表を兼ねることができる）として選出する。
- ② 世界選手権代表を除く、個人総合最上位者を個人総合枠の日本代表選手（世界選手権代表を兼ねることができない）として選出する。
- ※ 世界選手権およびアジア競技大会の双方に選出され、アジア競技大会への出場を希望しない者は、NHK杯開始前までに辞退を申し出ること

2. 種目特化枠：2名

上記1で選出された3名を除くNHK杯出場者の中から、[2]に示す手順に基づき、2名を種目特化枠の日本代表選手として選出する。この2名のうち、1名（種目特化枠A）はNHK杯の個人総合順位15位までの選手から選出し、もう1名（種目特化枠B）は個人総合順位による制限を設けないものとする。

※ 世界選手権代表およびアジア競技大会個人総合枠の代表を除いて選出することとする

[2] 種目特化枠選考手順

1. 個人総合枠として選出された3名を固定した上で、NHK杯出場者の中から種目特化枠の2名を選出する全ての組み合わせについて、選考用団体得点（各種目ベスト3の合計得点）を算出する。選考用団体得点の算出方法は以下のとおりとする。
 - ① 対象試合：全日本個人予選・全日本個人決勝・NHK杯1日目および2日目の計4試合
 - ② 対象得点：個人総合枠の3名については、各種目における高得点2試合の平均得点を用いる。種目特化枠の2名については、各種目における高得点3試合の平均得点を用いる。
 - ③ 跳馬は1本目の演技のみを対象とする。
 - ④ 平均得点は小数第4位以下を切り捨てるものとする。
2. 選考用団体得点が最も高い組み合わせを抽出し、その組み合わせに該当する2名を種目特化枠の日本代表選手として選出する。ただし、以下に示す条件1および条件2をいずれも満たす組み合わせが存在する場合は、その組み合わせを優先して選出する。
 - 条件1：選考用団体得点が最高値と0.5以内の差であること
 - 条件2：対象4試合における種目別最高得点が、下記4に示す日本体操協会指定種目別アジアランクイング（以下、アジアランクイング）1位に該当する得点である選手を含むこと。

※ 条件2の判定において、跳馬については2跳越の平均得点を対象とする。
3. 上記2に示す2つの条件を満たす組み合わせが複数存在する場合には、以下の優先順により選出する。
 - ① アジアランクイング1位に該当する種目数が多い組み合わせ
 - ② 選考用団体得点の高い組み合わせ
 - ③ NHK杯個人総合順位の高い選手を含む組み合わせ
 - ④ 団体得点ベスト4の合計得点が高い組み合わせ
4. アジアランクイングについて
 - ① アジアランクイング作成の対象大会は表1のとおりとする

表1. アジアランクイング作成対象大会一覧

No.	大会	開催日（予定含む）
1	CC コペル	2025.05.15-18
2	CC タシュケント	2025.06.18-21
3	アジア選手権	2025.06.05-08
4	世界ユニバーシティゲームズ	2025.07.22-26
5	WCC パリ	2025.09.26-27
6	WCC ソンバトヘイ	2025.09.18-20
7	世界選手権	2025.10.17-25
8	WC コトブス	2026.02.19-22
9	WC バクー	2026.03.05-08
10	WC アンタルヤ	2026.03.12-15
11	WC カairo	2026.04.03-06
12	WC オシエク	2026.04.09-12
13	WC ドーハ	2026.04.15-18
14	CC ワルナ	2026.05.07-10

※ C I～CIVすべての試合を対象とする

② アジアランキング作成に関する事項

- A) アジアランキング対象大会に出場したアジア競技大会対象国の選手のみを対象とする（日本人選手の得点は除外する）
- B) 対象大会の終了ごとにアジアランキングを更新し、CC ワルナの成績までをアジアランキングに追加する
- C) NHK 杯終了後、個人総合枠として選出された 3 名の得点（対象 4 試合における各種目の最高得点）を追加して、アジアランキンギングを確定する
- D) 表 1 に示す大会に同一選手が複数回出場している場合には、各種目における最高得点を採用とする
- E) 各種目において、各国上位 2 名までをランキングの対象とする
- F) ランキングに用いる得点が他大会の採点基準と比較してから著しく逸脱していると判断された場合には選手選考委員会が検証を行った上で、当該大会または当該大会の一部の種目を対象から除外することができる
- G) 今後 FIG より WC 大会等の追加が発表された場合には、当該大会をアジアランキング対象大会に追加することがある。
ただし、CC ワルナ 2026 年 05 月 10 日以前に開催された大会の場合に限るものとする。
- H) FIG ニュースレターにより通達された D スコア算出のルール変更については、ランキング対象となるすべての得点に遡って反映し、改定後の得点を採用する

[3] 補欠選手の選出

日本代表補欠選手を若干名選出する。

※ 日本代表選手が怪我や疾病、その他の不測の事態等により、本来のパフォーマンスを充分に発揮できないと判断された場合には、日本代表補欠選手と交代することがある。選手の交代については強化本部長の提案に基づき、選手選考委員会において決定する。

[4] 代表選考会における国内内規の適用について

対象 4 試合の各大会において、個人総合の総 D スコアが 32.0 以上の選手に対しては、表 2 に示すとおり個人総合得点に加点を与える。なお、本加点は個人総合得点のみに適用し、選考用団体得点の算出には反映しないものとする。

表 2. 国内内規加点について

総 D スコア	加点
32.0~32.1	+0.05
32.2~32.3	+0.10
32.4~32.5	+0.15
32.6~32.7	+0.20
32.8~32.9	+0.25
33.0~33.1	+0.30
33.2~33.3	+0.35
33.4~33.5	+0.40
33.6~33.7	+0.45
33.8 以上	+0.50